

Mascot Server version 3.1 Windows 版 アップグレード手順

この書類は、version 3.0 以前の Mascot Server(Windows 版)を **version 3.1** へアップグレードする手順について説明しています。**新規にインストール**する場合はインストール DVD 内 または弊社日本語 資料サイト上の [Mascot_Server_v.3.1_Win_新規インストール手順.pdf](#) をご覧ください。

● ver. 3.1 アップグレードで特に注意して頂きたい事

- ▼ **ver.2.7からアップグレードを希望される場合や別の PC への移行をご検討の場合は弊社までご連絡ください。**
- ▼ アップグレード前に次頁**システム要件**をご確認ください。
- ▼ 作業前にデータのバックアップを取っていただく事を強く推奨いたします。手順 **I-I.MASCOT Server 現環境のバックアップ**(P.4～)をご参照ください。
- ▼ オンラインによるライセンス認証を行います。MASCOT Server が **インターネットへの接続ができるかご確認ください**。ただし以降の手順で記されているように接続できない場合にも対処法がございます。

● アップグレード時に準備するもの

1. Mascot Server version 3.1 のインストール DVD
2. MASCOT Server のプロダクトキー情報 (**ver.3.1 用**、英数字 4×5 = 20 文字)
3. MASCOT Server のインターネットへの接続環境 (接続できない場合でも別途方法有)
4. Windows へログインするユーザー名とパスワード (Admin 権限が必要)
5. (**MASCOT Security 機能を使っている場合**) MASCOT Administrator 権限を持つユーザー名とパスワード
6. [クラスターシステムでご利用の場合]別紙 :
「MASCOT_Server_v.3.1_Win_新規インストールアップグレード手順_クラスター補足」

● アップグレード作業の流れ

****最低限、3 までのステップで MASCOT Server ver.3.1 が動くようになります。****

1. バックアップ、windows へのログイン、起動中の他アプリケーションソフトウェアの終了
2. MASCOT Server ver. 3.1 へのアップグレード
3. MASCOT Server の ライセンス認証
4. MASCOT Server のデータベース環境設定画面を開く
5. ファイルダウンロードとデータベース構築確認
6. MASCOT Server の動作確認
7. MASCOT Daemon アップグレード (別資料、ご利用の方のみ)

● アップグレードに要する時間

アップグレードの操作自体は 30 分以内に終わりますが、以下の 2 つの要素により作業の前後で大きく時間がかかることがあります。

■アップグレード作業前:バックアップ

バックアップはファイルサイズにより大きく前後します。特にこれまでの検索で結果ファイルが大量にある場合は遅くなり、**場合によっては数時間かかる**ことがあります。

■アップグレード作業後:データベースダウンロード、再構築

目安の作業時間には、バージョンアップ後自動的に行われるデータベースファイルの更新の時間を含めていません。構築完了までの大まかな目安として 1 時間～3 日程度かかります。特に NCBIprot などサイズの大きなデータベースはダウンロードやデータベースの構築に時間がかかります。構築完了したデータベースは検索可能ですが、構築中のデータベースが残っている場合、動作が遅くなります。

● システム要件

MASCOT Server のインストールには以下の条件が必要です。

- **ディスクスペース** : 通常利用の最低ラインで200GB、推奨 2TB。
- **メモリ** : 通常利用の最低ラインで32 GB、推奨 64GB 以上。
- **OS の種類と注意事項** : Windows 8.1 以降または Windows Server 2012R2 以降

● インストールチェック表

項目	チェック	該当 P
作業前:以下のものを準備		
ver. 3.1 インストール DVD		
ver.3.1 のプロダクトキー (英数字 4×5=20 文字):アップグレード用		
コンピュータのインターネットへの接続 (接続できない場合も別途ライセンシングの方法有、詳細は手順書 3,P.10~をご参照ください)		
MASCOT Server コンピュータへのログインユーザー名とパスワードの確認		
(MASCOT Security 機能ご利用の方) MASCOT Administrator 権限を持つユーザー名とパスワード (わからない場合もサーバーへログインしてセキュリティ機能をオフにすれば作業可能です)		
作業内容		
1.バックアップ、ログインの確認、他アプリケーションの終了		4
1-1. MASCOT Server 現環境のバックアップ		4
1-2. windows ログインの確認 [アカウントチェック含む]		4
1-3. 起動中の他アプリケーションソフトウェアの終了		4
2. MASCOT Server version 3.1 アップグレード		4
3. MASCOT Server ライセンス認証		9
3-1. ライセンス認証画面表示		9
3-2. ライセンス認証サイトへのアクセス		10
3-3. ライセンス認証		12
4. MASCOT Server のデータベース環境設定画面を開く		17
5. ファイルダウンロードとデータベース構築確認		20
5-1. ダウンロード進捗の確認		20
5-2. ファイルの変換・検索テスト進捗の確認		21
6. MASCOT Server の動作確認		22
6-1. Database status 画面、Status 項目の”In use”確認		22
6-2. 過去の検索結果の閲覧		23
6-3. 検索テスト		23
7. MASCOT Daemon アップグレード		別紙

● アップグレード手順

1. バックアップ、ログインの確認、他アプリケーションの終了

■ 1-1. MASCOT Server 現環境のバックアップ

Mascot Serverがインストールされているフォルダ(通常のインストールでは C:¥Inetpub¥mascot フォルダ)全体をバックアップしてください。

バックアップの方法は各ユーザー様にお任せいたします。やり方がよくわからない場合は以降の記述をご参照ください。

外付けハードディスク、または D ドライブなど MASCOT の dat ファイルバックアップ用に備え付けられた内部ハードディスクに「mascotbk20240805」などのフォルダを作成し、そこへ C:¥Inetpub¥mascot フォルダの中身を丸ごとファイルコピーする方法をお勧めいたします。コピー先フォルダの残り容量にご注意ください。

■ 1-2. Windows ログインの確認 [アカウントチェックを含む]

Administrator 権限(管理者権限)を持ったユーザーでログインしてください。弊社納入コンピュータをご利用の場合通常は Administrator 権限を持つ mascot ユーザーが作成されています。mascot でログインしてください。

■ 1-3. 起動中の他アプリケーションソフトウェアの終了

アップグレード作業を行う前に、起動している他のアプリケーションソフトウェアを終了してください。

2. MASCOT Server ver. 3.1 へのアップグレード

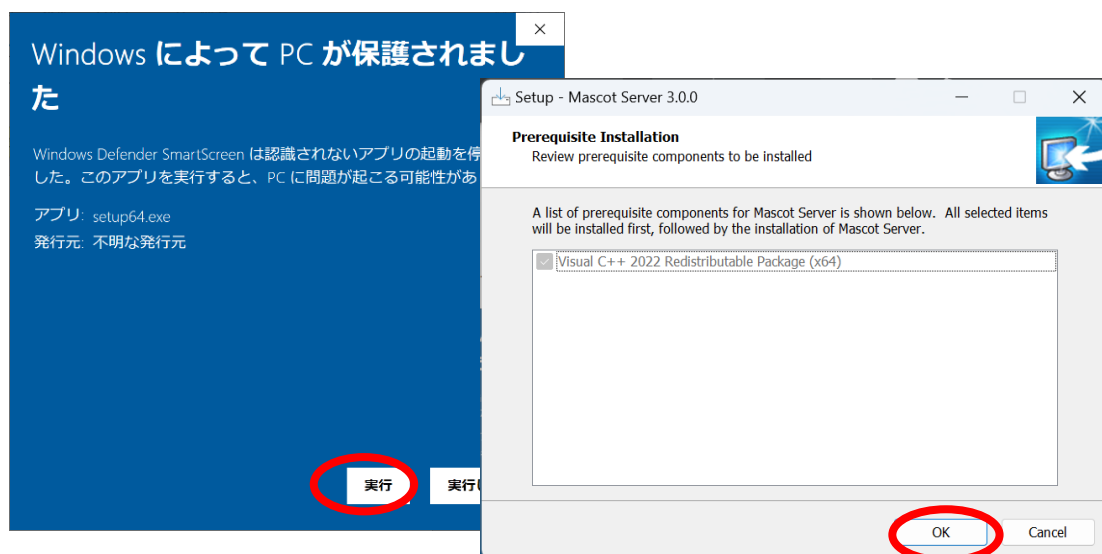
Mascot Server version 3.1 のアップグレードに要する時間は、DVD 内に予め準備されているデータベースファイル SwissProt リリース 2024_04, PRIDE_Contaminants_20160906 のセットアップも含め 3.1 分以内です。

初めにver.3.1 のインストールDVDを光学ドライブに挿入してください(インストールプログラムが入ったフォルダでも動作します)。DVD はMATRIX_SCIENCEという名称でマウントされます。**setup64.exe** をダブルクリックしてください。

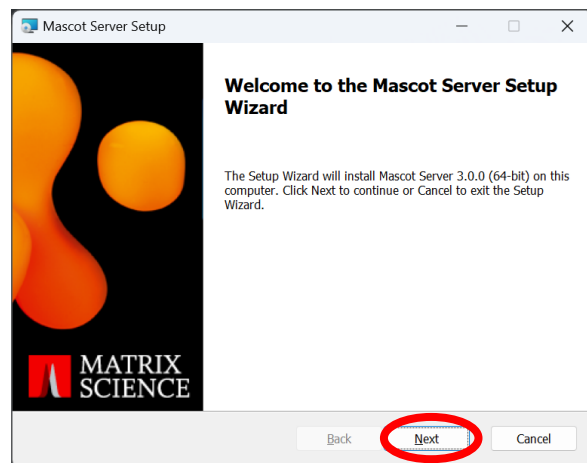
manual.pdf	2024/09/19 18:52	Adobe Acrobat Docu...	3,499 KB
Mascot Server x64.msi	2024/09/26 1:50	Windows インストー...	9,242 KB
mascot.cab	2024/09/26 1:41	キャビネット ファイル	26,915 KB
mladapt.cab	2024/09/26 1:43	キャビネット ファイル	626,824 KB
ms2pip1.cab	2024/09/26 1:50	キャビネット ファイル	499,132 KB
ms2pip2.cab	2024/09/26 1:48	キャビネット ファイル	369,153 KB
PRIDE_Contaminants_20160906.7z	2016/11/07 19:14	圧縮アーカイブ フォルダー	15,694 KB
release_notes.pdf	2024/09/25 0:25	Adobe Acrobat Docu...	315 KB
setup64.exe	2024/09/26 1:52	アプリケーション	1,787 KB
SwissProt_2024_04.7z	2024/09/16 23:20	圧縮アーカイブ フォルダー	313,752 KB

windows 側に、下図左のようにインストーラーの実行について確認を求められることがありますが「**実行**」を選択してください。

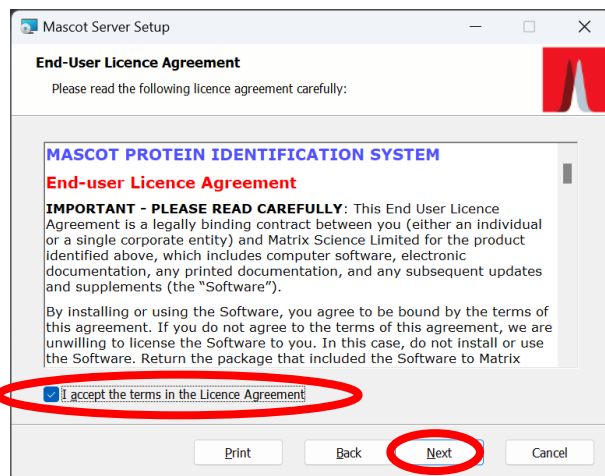
また下図右のように関連プログラムとして、VisualC++ 2012 などの インストールを MASCOT のインストール前に求められる事があります。特に問題がなければインストールを行ってください。



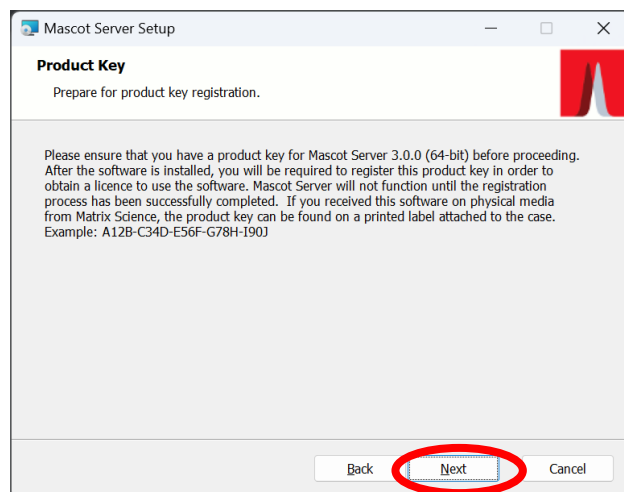
関連プログラムのインストールが終わると、MASCOT Server のバージョンアップが始まります。「Next」を押してください。



License Agreement が表示されます。内容をご覧いただき、特に問題がなければ「I accept the terms in the License Agreement」にチェックを入れ、「Next」を押してください。

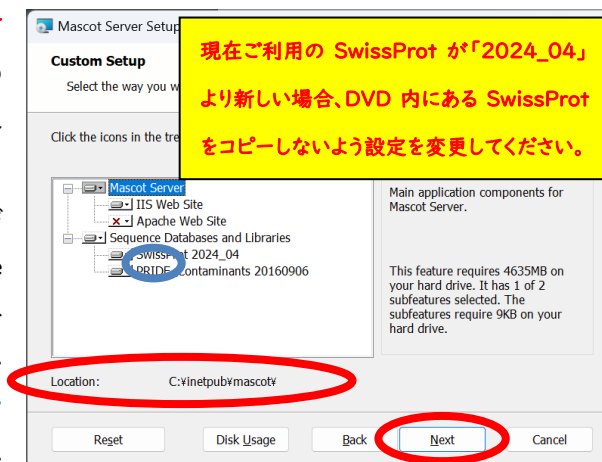


プロダクトキー入力が必要であることを通知する画面が表示されます。「Next」を押してください。



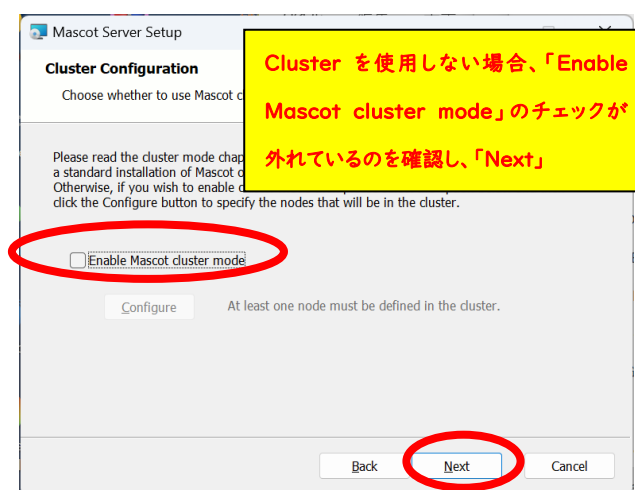
インストール内容とインストール箇所を確認する画面が現れます。「Location」として以前のバージョンで使用していたフォルダが指定されているか、ご確認ください。

またご利用の SwissProt のバージョンが「2024_04」より新しい場合、「Sequence Database and Libraries」において、インストーラーからデータベースファイルをコピーしないよう右図内の青い丸の中にあるハードディスクマークをクリックし、✓から×に変更してください。設定後、「Next」ボタンを押します。

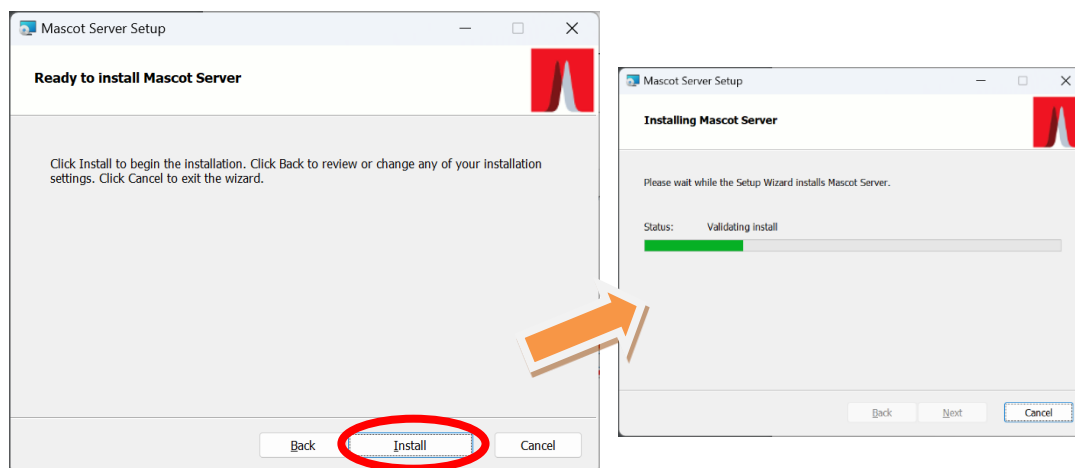


続いて Cluster システムの設定を行います。

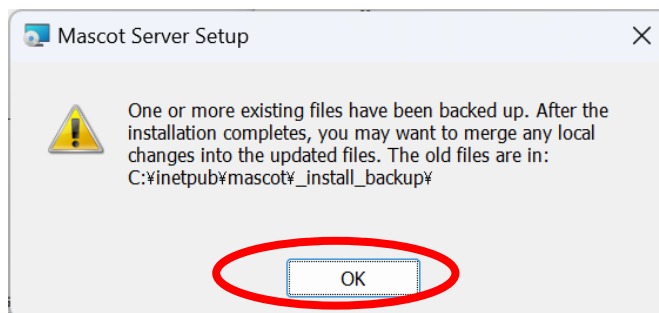
Cluster システム を利用しておらず 1 台の PC だけで MASCOT Server の計算を行う場合、チェックが付いていないのを確認してから「Next」ボタンを押してください。通常は Cluster を使っておらずチェックをはずす方が正しい設定です。Cluster システム（複数台の PC を利用する構成）をご利用の方は別紙「新規インストールアップグレード手順 クラスター補足」の「補足手順 1」をご覧ください。



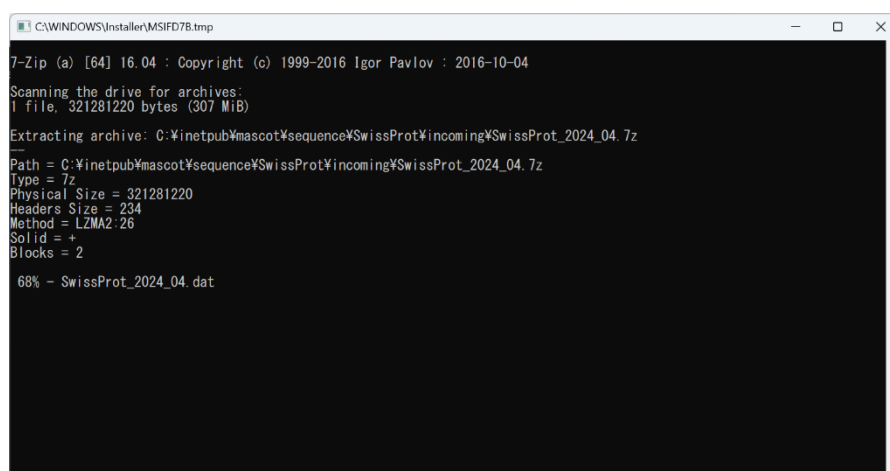
すべての項目を設定し終わると、インストール開始となります。「Install」ボタンを押してください。ファイルコピーが開始されます。



途中、以前のバージョンで使用していた設定ファイルについてバックアップがとられ、その保存場所について示したダイログが現れます。そのまま「OK」を押してください。



SwissProtなどのデータベース設置を選択した場合、インストール後半で圧縮ファイルの展開と解凍が行われます。その操作中である事を表すコマンドプロンプトが途中表示されます。

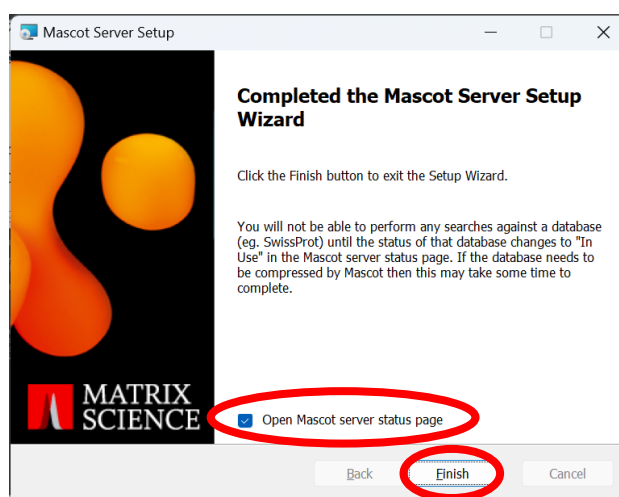


インストールが完了すると、右図のようなダイログが現れます。「Open Mascot server status page」のチェックが入っているのを確認した上で、「Finish」ボタンを押してください。

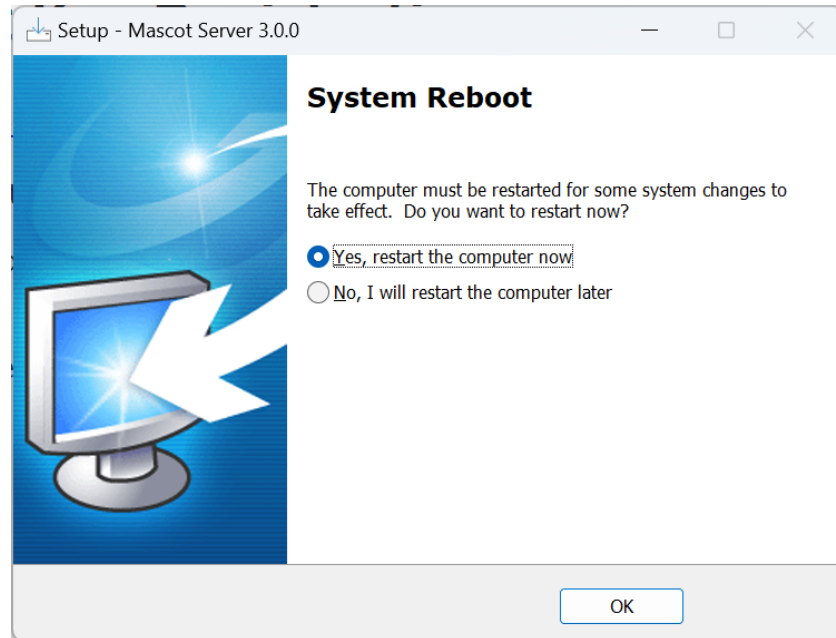
通常はインストール完了後自動的にMASCOTのServiceが開始されます。一方Clusterシステムをご利用の方は現状MASCOT Serviceが動いていません。

ログインユーザーであるmascotにてMASCOT Serviceを動かすよう設定をする必要があります。

詳しくは別紙「新規インストールアップグレード手順 クラスター補足」の「補足手順2」をご覧ください。



状況によってはMASCOTインストール後にシステム再起動が求められることがあります。再起動を実施してください。



3. MASCOT Server の ライセンス認証

アップグレード後、**ライセンスの登録と認証が必要となります。以前のバージョンからアップグレードを行ったお客さまも、以前のバージョンの使用権を確認する意味で、ver.3.1 用に発行されたライセンスで登録と認証を行う必要があります。**ライセンス認証は WEB ブラウザ画面を通じて行います。**ライセンス登録と認証は基本的にオンラインで行う**ため、MASCOT Server コンピュータ（あるいは server へ接続している別の PC）をインターネットへ接続した方が簡単に認証できます。但し PC を直接インターネットへ接続できない場合でも、インターネットに繋がっている別の PC からライセンスの登録と認証を行う事ができます。

■ 3-1. ライセンス認証の案内画面を表示させる方法

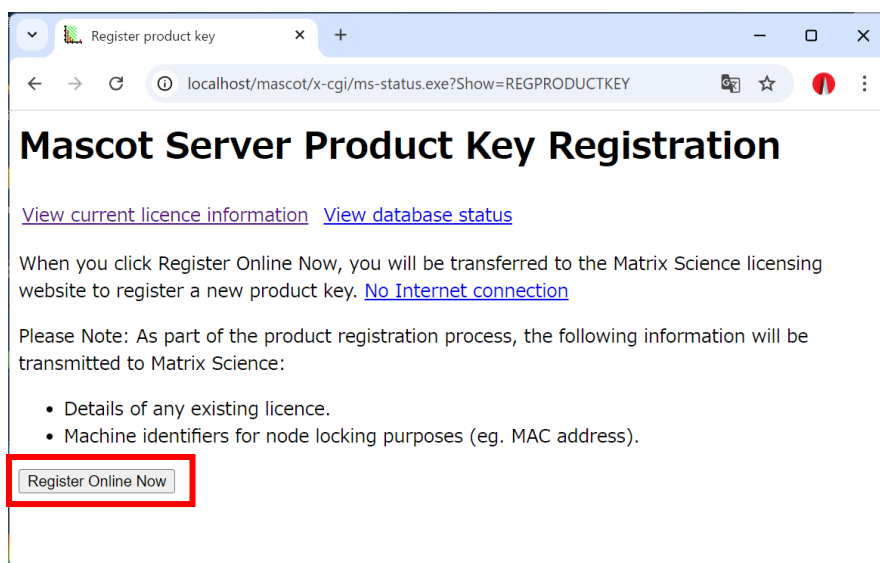
WEB ブラウザで Database status (Home ->Database status) を開くと、「Mascot Server Product Key Registration」ページに誘導する画面が現れます。

■ 3-2. ライセンス認証サイトへのアクセス方法

ライセンス認証のサイトへアクセスする方法は、操作をしている端末がインターネットへ接続しているかどうかにより対処法が異なります。直接接続できない場合は登録に必要な情報を集めたファイル「**registration.xml**」をserver から入手しておく必要があります。

■ 認証操作をしているPCをインターネットに繋いでいて直接登録と認証を行う場合：

案内画面内にある「**Register Online Now**」ボタンを押してください。

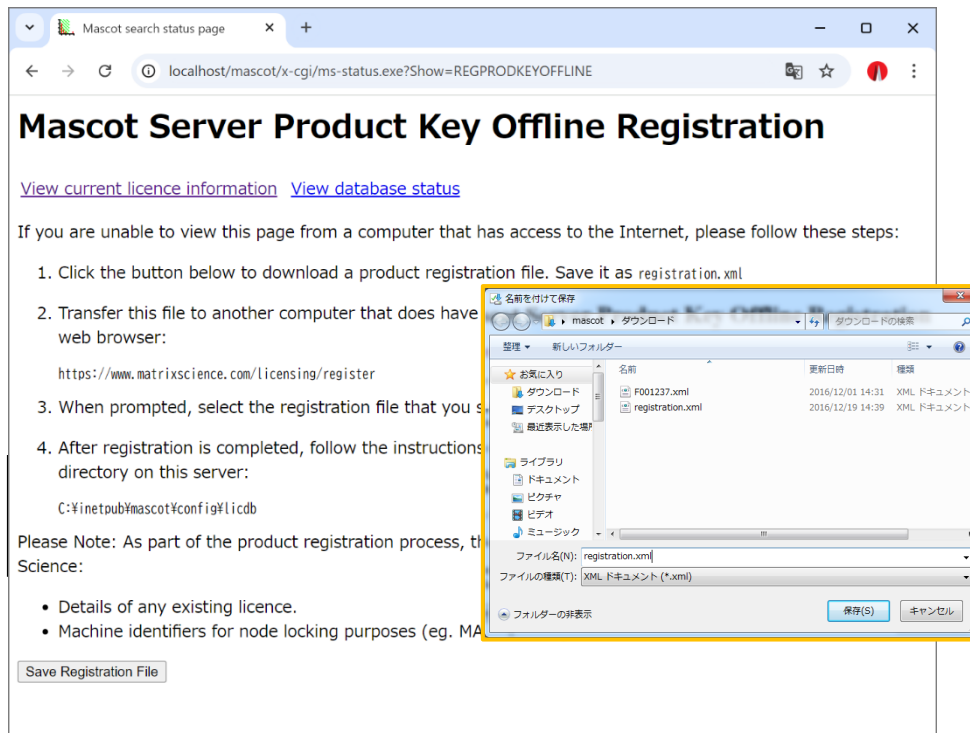


■ 何らかの理由で認証操作をしているPC をインターネットに繋いでいない場合：

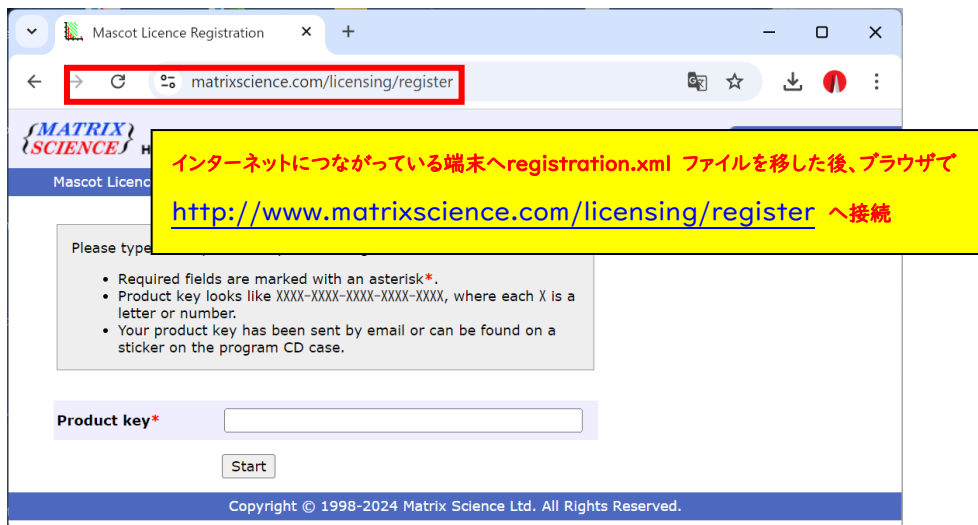
案内画面内にある「**No Internet connection**」をクリックします。



遷移した画面で「**Save Registration File**」ボタンを押して**registration.xml** ファイルを保存してください。

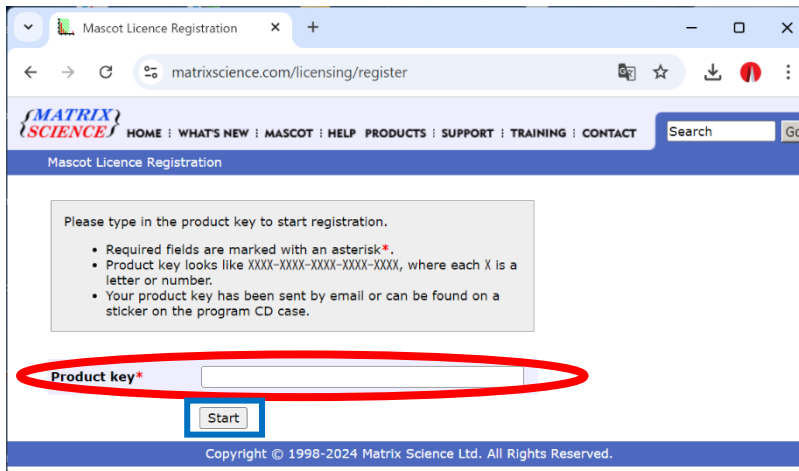


このファイルをインターネットに接続しているPCへ持ち運び、ブラウザのアドレス部分に
<http://www.matrixscience.com/licensing/register>
 と入力してライセンス登録画面を開いてください。



■ 3-3. ライセンス認証

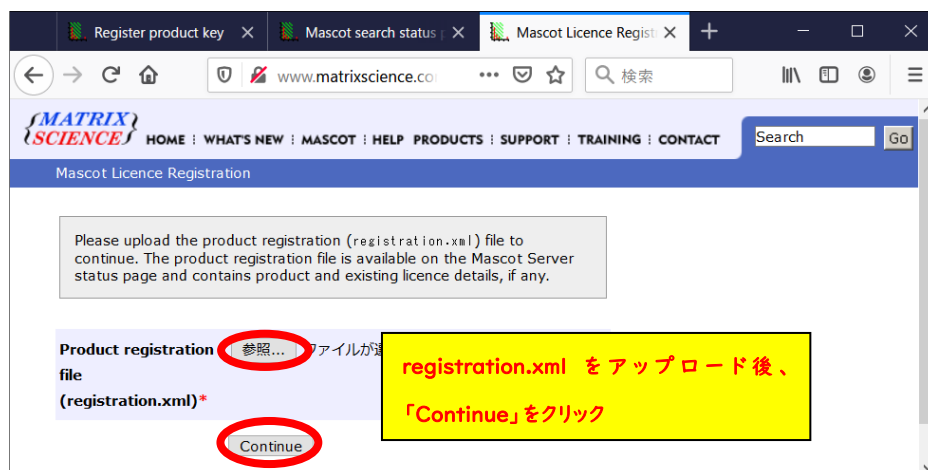
プロダクトキーを入力する画面が現れます。別途お知らせした**ver.3.1**用のライセンス20文字の半角英数字を、ハイフン付きで入力してください。入力後、「**Start**」ボタンを押してください。



MASCOT Server から直接認証サイトへ繋いでおらず別端末から接続している場合、**以下の操作**を追加で行い **registration.xml** ファイルをアップロードしてください。

***別端末でインターネットに繋いでライセンス登録する場合**

保存したProduct registration file (registration.xml ファイル)をアップロードする画面が現れます(下図)ので、**registration.xml**ファイルをアップロード→「**Continue**」をクリックしてください。



******* MASCOTとは別端末でライセンス登録を行う場合に行う追加の操作 終わり**

続いてライセンス情報を登録する画面が現れます。赤い * が付いている項目に関しては必須項目ですので必ず入力してください。入力内容については、下図例を参考にしてください。

The screenshot shows the 'Mascot Licence Registration' web form. The form includes fields for product details, contact information, and a consent section. Red asterisks (*) indicate required fields. A red box highlights the 'Email address (CC)' field and the consent options. Two yellow boxes provide additional instructions in Japanese.

Product key [Text field]

Product family Mascot Server

Licence type Permanent

Licensed features Version [Dropdown]
Version [Dropdown]
2 CPUs

Old product key [Text field]

Email address* takaesu@matrixscience.com

Verify email address* takaesu@matrixscience.com

Full name* Hiroto Takaesu

Organisation* Matrix Science Japan

Address line 1* 1-6-10, Higashi-Ueno

Address line 2 [Text field]

City* Tokyo

Zip/postcode 1100015

State/region Tokyo

Country* [Dropdown]

Phone number [Text field]

Fax number [Text field]

Email address (CC) [Text field]

☒ Matrix Science may send me technical support information by email, such as the availability of new releases, upgrades, and support contracts.

☐ I do not wish to receive any communications from Matrix Science.

Note: In either case, Matrix Science will not use your contact information to send unrelated advertising, and will not disclose your details to any third party.

Annotations:

- Yellow box: *欄は入力必須 日本語×、すべて英語で
- Yellow box: ライセンス登録者とは別の人へライセンスファイルを送りたい場合、「Email address(CC)」欄にメールアドレスを入力してください。また、ここで入力した人が弊社からの各種ソフトウェアのバージョンアップ等のお知らせ(英語版)が必要かどうかを選択してください。

画面下部にはMASCOT Server のライセンスに関する規約が表示されます。文章に目を通して問題ない場合には「**I accept the terms of the licence agreement**」を選び、「**Create licence**」ボタンを押してください。

Mascot Licence Registration

← → ↺ 🏠 🔒 www.matrixscience... ☆ >> ☰

Note: In either case, Matrix Science will not use your contact information to send unrelated advertising, and will not disclose your details to any third party.

MASCOT PROTEIN IDENTIFICATION SYSTEM

End-user Licence Agreement

IMPORTANT – PLEASE READ CAREFULLY: This End User Licence Agreement is a legally binding contract between you (either an individual or a single corporate entity) and Matrix Science Limited for the product identified above, which includes computer software, electronic documentation, any printed documentation, and any subsequent updates and supplements (the "Software").

By installing or using the Software, you agree to be bound by the terms of this agreement. If you do not agree to the terms of this agreement, we are unwilling to license the Software to you. In this case, do not install or use the Software. Return the package that included the Software to Matrix Science Limited or their authorised distributor within 30 days of receipt for a full refund.

1 Licence

Matrix Science Limited owns the copyright in the Software contained within this package and all other copies which you are licensed to use under this agreement to make.

This licence is personal to you (either an individual or a corporate entity) as the purchaser of a licence to use the Software.

「Licence agreement」の内容に問題がなければ、「I accept the terms of the licence agreement」を選択し、「Create Licence」ボタンを押してください。

☐ I do not accept the terms of the licence agreement.

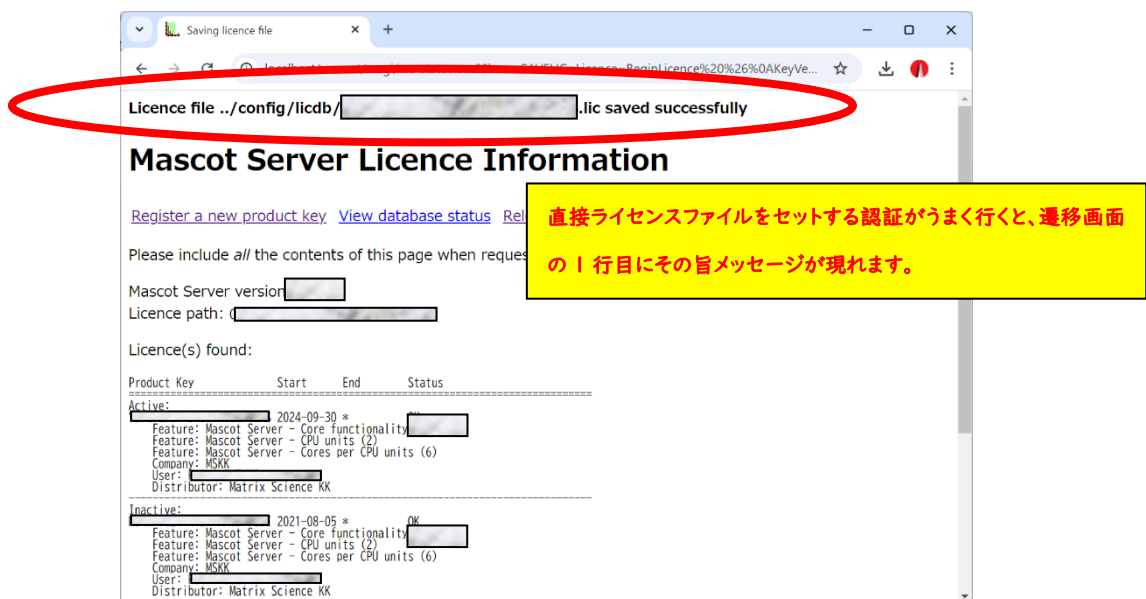
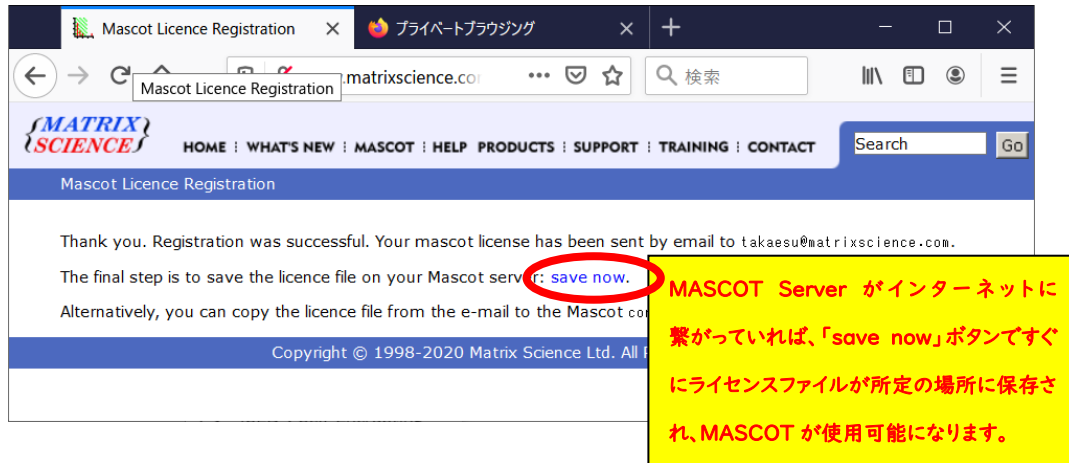
☒ I accept the terms of the licence agreement.*

Create Licence

Copyright © 1998-2020 Matrix Science Ltd. All Rights Reserved.

無事登録が終わると以下のような画面が表示され、登録したメールアドレスにライセンスファイルが送付されます。ライセンスファイルは、「(ライセンス文字列).lic」というファイル名です。

MASCOT Server がインターネットに繋がっている状態でライセンシング作業を行った場合、「save now」リンクを押すとライセンスファイルが直接サーバーに保存され、その後の煩雑な操作をすることなくすぐに利用可能な状態になります。



*別端末でインターネットに繋いでライセンス登録する場合の追加操作

ライセンスファイルは登録したメールアドレスにも送られてきます。MASCOT server がインターネットに繋がっていない場合、登録メールに添付されたライセンスファイルをネットワーク経由やフラッシュメモリなどでMASCOT Server PCまで運び、licファイルをMASCOTインストールディレクトリ下の、**config/licdb** へコピーしてください。MASCOTインストールディレクトリは通常 **c:\inetpub\mascot** ですので、licdb の場所は **c:\inetpub\mascot\config\licdb** となります。ライセンスファイル設置直後からMASCOT Server が正常に動作します。

*別端末でインターネットに繋いでライセンス登録する場合の追加操作 終わり

バージョンアップ後各データベースの構築が開始します。検索可能になるのに少し時間がかかります。

ライセンス登録の内容を確認するため、Database StatusページのLicense info のリンクを押し、ライセンス情報が正しく表示されている事を確認してください。操作後も画面にライセンス登録を求めるエラーメッセージが出る場合は弊社までご連絡ください。

Database Status 画面で、「Licence Info」リンクをクリックし、登録したライセンス情報が表示されているかご確認ください。

MASCOT search status page

Version: 3.0.0 - MSK [redacted] **Licence Info**

4 logical, 1 physical Intel processors (hyper-threading disabled in bios, quad core). CPUs: 0 1 2 3 available, using: 0 1 2 3
[0 searches running]

Active databases: 7. Inactive databases: 256.

[Search log](#) [monitor log](#) [error log](#) [Error message descriptions](#) [Do not auto](#)

Name = Human EST Family = C:/inetpub/mascot/sequence/Human EST/current/...
Filename = Human EST 20220713.fasta Pathname = C:/inetpub/mascot/sequence/Human EST/current/...
Status = Waiting Statistics Unidentified taxonomy
State time = Tue Oct 1 12:00:49 # searches = 0
Mem mapped = NO Request to mem map = YES Request unmap = NO Mem locked = NO
Number of threads = -1 Current = NO Type = Nucleic acid

Name = PRIDE Contaminants Family = C:/inetpub/mascot/sequence/PRIDE Contaminants/current/...
Filename = PRIDE Contaminants 20160906.msp Pathname = C:/inetpub/mascot/sequence/PRIDE Contaminants/current/...
Status = Waiting Statistics Compression warnings
State time = Tue Oct 1 12:00:49 # searches = 0
Mem mapped = NO Request to mem map = NO Request unmap = NO Mem locked = NO
Number of threads = 1 Current = NO Type = Spectral library

Mascot Server Licence Information

[Register a new product key](#) [View database status](#) [Reload this page](#)

Please include all the contents of this page when requested to provide this information to technical support.

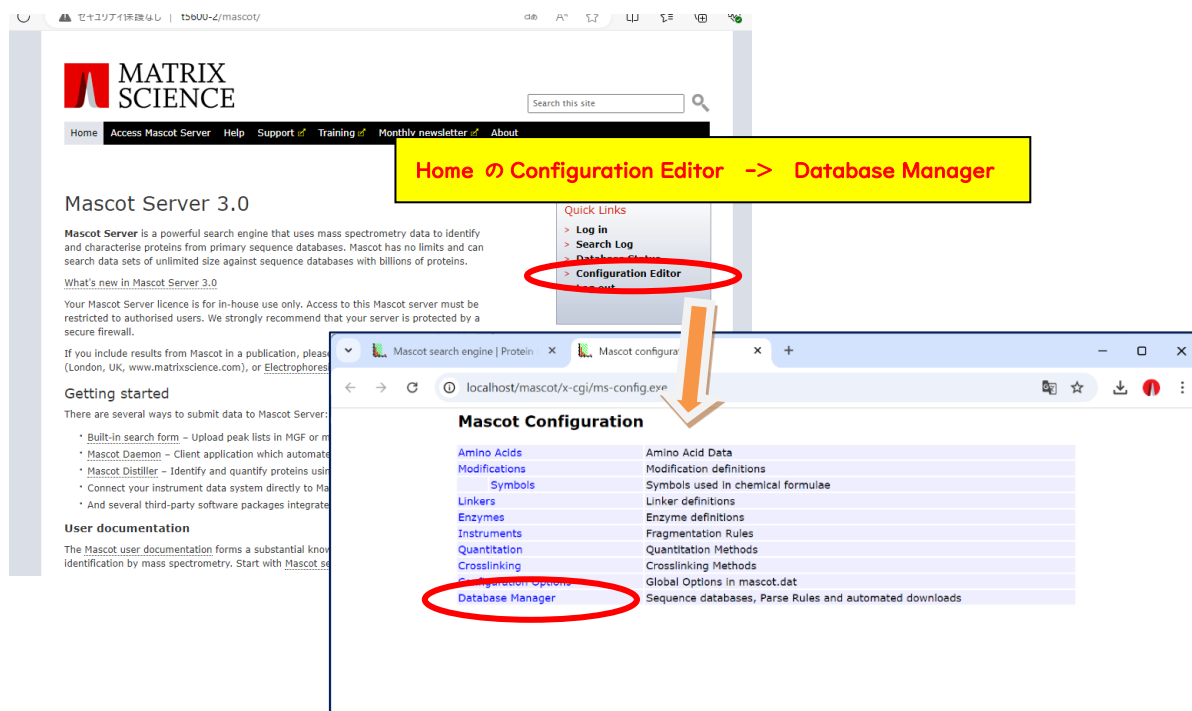
Mascot Server version: 3.0.0
Licence path: C:\inetpub\mascot\config\licdb

Licence(s) found:

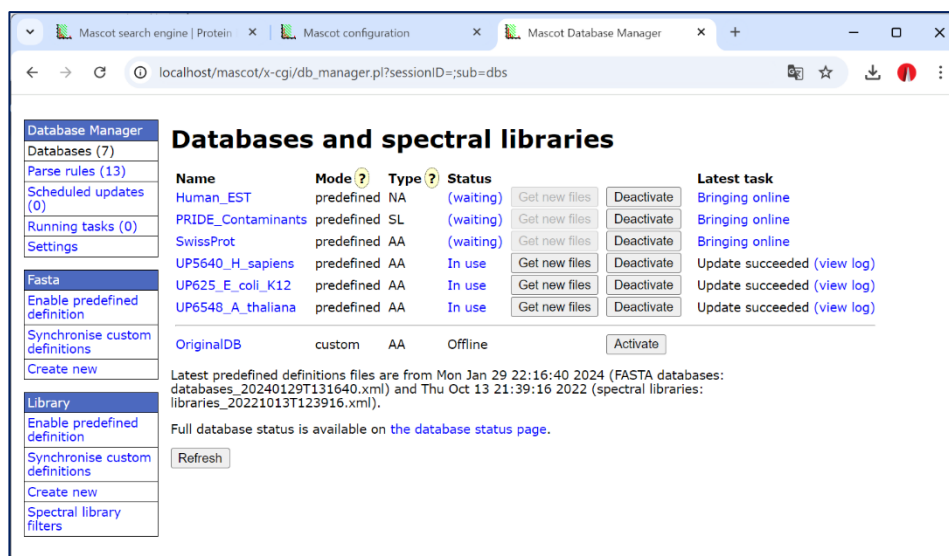
Product Key	Start	End	Status
Feature: Mascot Server - Core functionality (v3.0.0) Feature: Mascot Server - CPU units (6) Feature: Mascot Server - Cores per CPU units (6) Company: MSK User: Reini SUZUKI Distributor: Matrix Science KK			OK
Inactive:			OK

4. MASCOT Server のデータベース環境設定画面を開く

バージョンアップ後、「Database Manager」ページ上で使用するデータベースについての**設定を確認してください**。データベースの環境設定を行う画面へアクセスするためには MASCOT のライセンス登録後 Web ブラウザで Home → Configuration Editor → **Database Manager** を開きます（下図）。



Database Manager を開いた際、以下のように利用中のデータベース一覧画面が表示されれば特に問題は**ありません**。**確認は終了**です。



設定内容の確認が必要なデータベースが存在する場合、以下のような設定変更画面が現れます。

Mascot Database Manager Configuration Import

Note:
Please disable other programs and scripts that configure or update sequence databases before continuing.

Database Manager can keep your files.
If you choose to use Database Manager, you can keep your files.
If you do not wish to use Database Manager, you can delete your files.

Database Manager has two kinds of definitions:

1. Predefined database definitions (e.g., Science website).
2. Custom database definitions (e.g., FASTA, reference, taxonomy).

You can choose to keep the existing definitions (Synchronise). Synchronisation (FASTA, reference, taxonomy) will update the definitions to the latest version.

If you do not want to update the definitions now, choose Keep as Custom. You can synchronise at any time in the future by choosing Synchronise Custom Definitions from the Database menu.

Database definition	Action	Match quality
PRIDE_Contaminants	☐ Keep as Custom ☒ Synchronise with PRIDE_Contaminants	perfect
SwissProt	☐ Keep as Custom ☒ Synchronise with SwissProt_ID ☐ Synchronise with SwissProt_AC	perfect poor Differences

Import database configuration by choosing Import.

[Import](#)

【選択項目の目安】
 ●カスタムデータベース、公開 DB だが抜き出しルール変更時など
 → Keep as Custom
 ●公開データベースで mascot デフォルト設定準備されている
 → Synchronise with 'XXXXXXX'

通常は選択項目を変更することなく「Import」を押すだけで OK

初期設定画面で提示されている設定内容は以下の2択です。

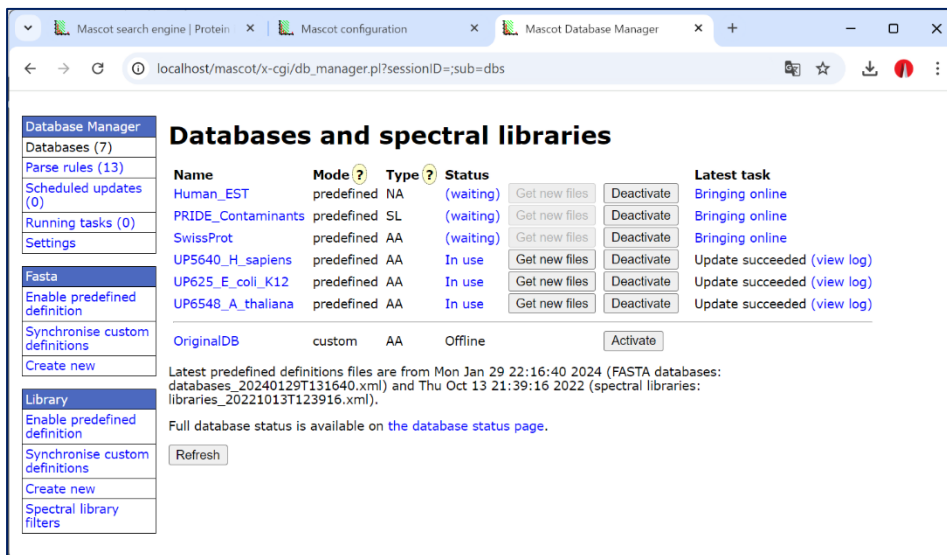
- **Keep as Custom:** 前バージョンで利用していて今後も使用予定のデータベースについて、これまでのバージョンで利用していた設定内容をそのまま継続して利用します
- **Synchronise with --:** データベースの設定ファイルであるconfiguration.xml ファイルの設定「--」を適用し、以降も定期的に変更がないかチェックし続けます

通常はMASCOTがデフォルトで選択している方をご利用ください。ただし以下の2例でデフォルト設定を変える事があります。

- SwissProtのフォーマットについて意図的に設定を変えている場合など、変更されてほしくない場合は「Synchronise --」を選択せず、「Keep as Custom」にします。
- これまで使用していた設定に不満がある状態で「Synchronise --」が提示された場合は、「▼Differences」をクリックし展開して表示される内容をご覧いただき、問題がなさそうであれば「Synchronise --」の提示内容に変更する事も可能です。

すべてのデータベースで設定が終了したら、画面下の「**Import**」ボタンを押します。

Import ボタンを押すと画面が切り替わり、左側の「Database Manager」->「Databases」選択時と同じ画面へ移行します



The screenshot shows the Mascot Database Manager web interface. The browser tabs include 'Mascot search engine | Protein', 'Mascot configuration', and 'Mascot Database Manager'. The address bar shows 'localhost/mascot/x-cgi/db_manager.pl?sessionID=sub=dbs'. The left sidebar has a 'Database Manager' section with links for 'Databases (7)', 'Parse rules (13)', 'Scheduled updates (0)', 'Running tasks (0)', 'Settings', 'Fasta', 'Library', and 'Spectral library filters'. The main content area is titled 'Databases and spectral libraries' and contains a table with columns: Name, Mode, Type, Status, Latest task, and buttons for 'Get new files' and 'Deactivate'.

Name	Mode	Type	Status	Latest task
Human_EST	predefined	NA	(waiting)	Bringing online
PRIDE_Contaminants	predefined	SL	(waiting)	Bringing online
SwissProt	predefined	AA	(waiting)	Bringing online
UP5640_H_sapiens	predefined	AA	In use	Update succeeded (view log)
UP625_E_coli_K12	predefined	AA	In use	Update succeeded (view log)
UP6548_A_thaliana	predefined	AA	In use	Update succeeded (view log)
OriginalDB	custom	AA	Offline	

Latest predefined definitions files are from Mon Jan 29 22:16:40 2024 (FASTA databases: databases_20240129T131640.xml) and Thu Oct 13 21:39:16 2022 (spectral libraries: libraries_20221013T123916.xml).

Full database status is available on the database status page.

Refresh

5. ファイルダウンロードとデータベース構築確認

アップグレード時にswissprotデータベースファイルの使用を選択した場合、または新たにデータベースを使用するように設定変更すると、最新のデータベースを検索に利用可能とするため「データベースファイルのダウンロード」→「MASCOT用のデータベースファイル変換」→「検索テスト」が行われます。データベースファイルの**ダウンロード進捗状況確認**については**Database manager**ページの**Running tasks**で、ダウンロード後の**ファイル変換や検索テストの進捗状況確認**は**Database Status** 画面で行います。

■ 5-1. ダウンロード進捗の確認

各データベースのダウンロード操作は「task」として扱われます。Taskの進捗度合いは下図のように「Tasks」セクションにて確認する事ができます。「Database Manager」画面の左フレーム、「**Running tasks**」をクリックすると、現在実行・実行待ちとなっているTaskが一覧で表示されます。Taskは「実行待ち」「実行中」「実行終了」の各セクションに分かれて表示されています(下図)。**実行したTaskが実行終了の欄へ移行し、「Last message」の欄に「(success) DB名' successfully updated」と表示されればダウンロード終了です。**

実行待ち→

実行中 →

実行終了→

(success) DB successfully updated と表示されればダウンロード完了

Title	Started	Progress
Download files for NIST_Human_HCD	Mon Feb 6 11:07:01 2017	[6.0%] Downloading <ftp://chemdata.nist.gov/download/peptide_library/libraries/human/HCD/2016_05_03

Process end time	Command	Last message
[Thu Feb 2 11:41:35 2017]	dbman_download.pl NIST_Human_IonTrap	(success) 'NIST_Human_IonTrap' successfully updated.
[Wed Feb 1 16:18:59 2017]	dbman_download.pl SwissProt	(success) 'SwissProt' successfully updated.

■ 5-2. ファイルの変換・検索テスト進捗の確認

ファイルダウンロードが終了後、MASCOT Serverプログラム側(ms-monitor.exe) が自動的にダウンロードしたファイルをMASCOT で検索できるようファイル変換を行います。変換状況は、**Database Status** (Home -> Database Status)でデータベース毎に確認できます(下図)。

各データベースの「Filename」項目に、**(Database名)_(バージョンまたは日付).fasta** と表示されています。後部の **(バージョンまたは日付)** の記述部分でデータベースの新しさを確認してください。また「Status」項目ではデータベースの現状を確認できます。

ダウンロード後のファイル変換
作業進捗を確認する場合

「Filename」項目にはファイルの
バージョン情報が含まれる

Database Name	Filename	Status
PRIDE_Contaminants	PRIDE_Contaminants_20160906.msp	Not in use
PRIDE_Contaminants	PRIDE_Contaminants_20160908.msp	In use
SwissProt	SwissProt_2016_10.fasta	Not in use
SwissProt	SwissProt_2017_01.fasta	In use

上記例のPRIDE_Contaminantsのように、2つの日付のデータベースが表示されているケースがあります。「Filename」項目と「Status」項目を見比べてください。例の上図では、日付が20160906のStatus項目は「Not in use」となっています。一方より新しい20160908の方は「In use」となっています。これは20160906の方は既に使用されておらず、新しい20160908の方が現在使用可能となっている事を表しています。ダウンロードを開始したデータベースについて、**Statusが「In use」になるまでお待ち下さい。**

6. MASCOT Server の動作確認

すべての設定後、MASCOT Server の各種動作確認をしてください。動作確認の方法はご利用者にお任せいたしますが、弊社からは以下3つの確認を提案いたします。

6-1. Database status 画面における、各データベースの Status 項目”In use”確認

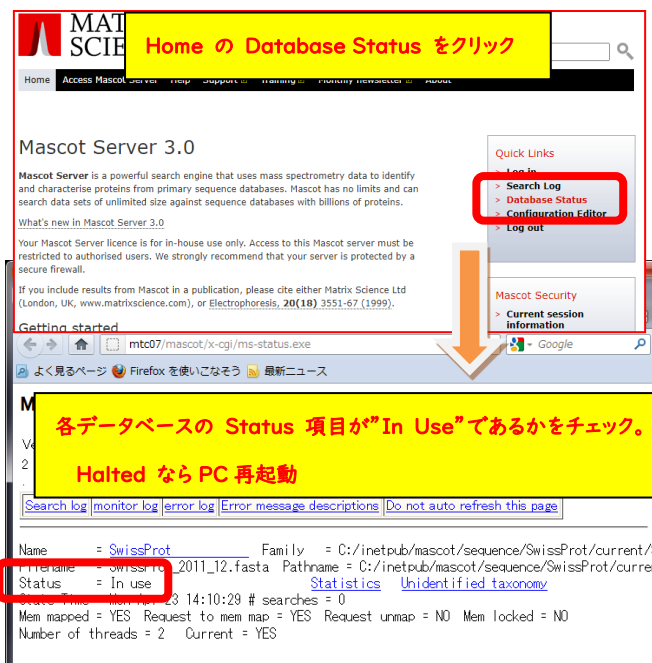
6-2. 過去の検索結果の閲覧確認

6-3. 検索テスト

■ 6-1. Database status 画面における、各データベースの Status 項目の”In use”確認

Home から「Database Status」のハイパーリンクをクリックします。

Database Status 画面にて、各データベースの「Status」項目を見ます。右図のように「In Use」であれば問題ありません。



ファイルダウンロード後のデータベース再構築ですが、

「1.データベースの構築」→「2.検索テスト」→「3.使用可能 (In use)」という過程を経ます。Status の表示が「Creating compressed files N%」となっている場合、step1 のデータベース構築中です。また status 表示が「Running 1st test」の場合、step2 の検索テスト実行中です。これらの表記は特に問題ありません。次のステップに移行するまでお待ちください。

Status が「Halted:Failed to map」となっている場合、**まずは PC を再起動してもう一度ご確認ください**。同じエラーが出た場合、status 項目のすぐ隣に現れているハイパーリンク「compression warning」「Check error log」をクリックし、エラー内容を確認してわかる範囲でご対処頂き、ご不明な点がございましたら弊社までご連絡ください。

■ 6-2. 過去の検索結果の閲覧確認

Database Status 画面を確認後、過去の検索結果の閲覧に問題がないか確認します。

Home から Search Log のハイパーリンクをクリックします。

The screenshot shows the Mascot Server 3.0 website. In the 'Quick Links' section, the 'Search Log' link is highlighted with a red box. An orange arrow points to this link. Below, the 'MASCOT search engine | Mascot SearchLog' page is displayed. It features a table of search results with columns: Job#, PID, dbase, User Name, Email, Ti, In, and start time. The first row, with Job# 4274, is highlighted with a red box.

Job#	PID	dbase	User Name	Email	Ti	In	start time
4274	1860	SwissPro	takaesu		ch		Wed Feb 01
4273	5608	SwissPro	takaesu		ch		Wed Feb 01
4272	7712	Human_ES	takaesu				Thu Jan 26 1
4271	1160	Human_ES	Monitor Test DB 0		MS		Tue Jan 24 1
4270	1660	SwissPro	Monitor Test DB 1		MS		Mon Jan 23
4269	7444	SwissPro	takaesu		Ye		Mon Jan 23
4268	5972	NIST_S.c	takaesu		Ye		Mon Jan 23
4267	7692	NIST_S.c	takaesu		Ye		Mon Jan 23
4264	9088	NIST_S.c	Monitor Test DB 0		MS		Fri Jan 20 18
4262	7664	testSL	Monitor Test DB 0		MS		Mon Jan 16
4261	728	NCBIInr	iusami		Ju		Thu Jan 12 1
4260	2160	SwissPro	iusami		Ju		Thu Jan 12 1
4259	1876	NCBIprot	iusami		Ju		Thu Jan 12 1

任意の Job# をクリックし過去の検索結果が問題なく表示される事を確認してください。これまでと同じフォーマット形式の画面が現れない、または表示時に赤字の Warning が出るようになった場合は、(以前のバージョンでも出ている場合を除く、) お手数ですが弊社までご連絡ください。

■ 6-3. 検索テスト

検索のテストについては、いつも実施している方法で検索してください。手元に適切なデータがない場合、DVD の mskk/sampleddata の中に含まれている各種 mgf ファイルを使って検索を試みたり、質量分析装置の付属ソフトウェアからの検索を行ってみてください。Repository site (PRIDE など) からデータを取得して検索しても良いかと思います。

うまくいかない場合、次頁の手順で順に検索のテストを行って頂き、どの段階で問題が生じるかご確認ください。

[検索でエラーとなる場合にお試し頂きたい事]

1. **すべてのケース**: データベースを変えて検索してください。

上記方法で検索可能だった場合: 最初に選択したデータベースに問題が生じている可能性があります。Home -> Database Status ページで該当データベースの status 項目をご覧ください(本資料の P22~をご参照ください)。また問題が生じているデータベースの名称を確認するとともに、MASCOT Server の logs ディレクトリにある、monitor.log, errorlog.txt ファイル内に該当データベースに関するメッセージがないかご覧ください。ご不明な場合はこれらのファイルを弊社までお送りください。

2. **Daemon や各社分析ソフトウェアから検索を行っている場合**: 検索手段を変えて検索してください。
 - 他のソフトウェアからでなく MASCOT Server PC にある WEB ブラウザから、Search log などにある過去の検索結果を開き、再検索などで検索テストを行ってください。
 - 他端末のブラウザや Daemon、メーカー付属の解析ソフトウェアがあればそこから検索を行ってください。

*ブラウザからの再検索方法が良くわからない場合、とりあえず home->Search log から**過去の検索結果を開き、再検索を行う方法**などをご提案します。

上記方法で問題が解決した場合: ネットワークや MASCOT セキュリティシステム、Daemon や各種ソフトウェアのバージョンの組み合わせに何らかのトラブルが発生している可能性があります。関連のありそうな項目について簡単にご確認頂いた後、弊社までトラブルの内容をご連絡ください。

7. MASCOT Daemon アップグレード(別資料)

MASCOT Server のバージョンアップに伴い、MASCOT Daemon のバージョンアップも行っていく事をお勧めいたします。Daemon のアップグレード手順に関しては 別資料「Mascot Daemon マニュアル」

URL: http://www.matrixscience.co.jp/supportpdf/MASCOTDaemon_ver30_manual.pdf

の「2.インストールと環境設定」-「2.3 アップグレード」にまとめてありますのでそちらをご覧ください。

● 技術サポート

アップグレードに関してご質問等ありましたら弊社技術サポートにご連絡ください。

電子メール : support-jp@matrixscience.com

電 話 : 03-5807-7897

